

吹奏楽指導者のための

第41回 吹奏楽ゼミナール



JAPANESE BAND DIRECTORS ASSOCIATION (JBA)
公益社団法人日本吹奏楽指導者協会

ホームページ <http://www.jba-honbu.or.jp>

日 時 令和5年12月28日（木）12時45分～30日（土）11時50分

会 場 名古屋音楽大学

愛知県名古屋市中村区稲葉地町7-1

- ・ JR名古屋駅からバス停「笹島町」から市バス栄24号系統「稲西車庫」行きで15分、「鴨付町」下車すぐ。
- ・ JR名古屋駅から地下鉄東山線「高畑」行きで7分、「中村公園」下車。中村公園バスターミナルから市バス中村13号系統「稲西車庫」行きで5分、「鴨付町」下車すぐ。

主 催 公益社団法人日本吹奏楽指導者協会（JBA）

後 援 文部科学省

一般社団法人全日本吹奏楽連盟

名古屋音楽大学

（同時開催 第35回吹奏楽指導者認定試験要項掲載）

第41回 吹奏楽ゼミナール

公益社団法人日本吹奏楽指導者協会 会長 山本 真理子
生涯学習・社会教育委員長 井上 学

【主旨と目的】

本ゼミナールは、公益社団法人日本吹奏楽指導者協会が主催し、我が国における吹奏楽の普及と吹奏楽指導のあり方について研究するとともに、次代を担う吹奏楽指導者の育成と指導者の技術・音楽性の向上、現職教員及び一般吹奏楽指導者等の生涯学習の機会の充実を図ることを目的とし、吹奏楽指導者を対象に毎年一回開催しています。

講習内容は、吹奏楽に関する幅広い知識・技能の修得と運営法等の不可欠な事項について、実用面に重点を置き、実践の場で即役立つことを狙いとしてカリキュラムを編成しています。また、学校教育のカリキュラム編成上、現職教員の再教育の場としても社会的に意義の高い講習会です。

～・～・～・ 吹奏楽指導者として、あなたの悩みは？ ・～・～・～
あなたの場合はいかがですか？

- ◆指揮法を勉強した経験がないので、基本から学びたい。
- ◆部活動ガイドラインが施行され練習時間が短いため、効率的な練習法を知りたい。
- ◆大学では音楽専攻ではなく他の教科が専門であるため、音楽の基礎的なことを学びたい。
- ◆音楽は専攻したが、ピアノ科や声楽科であったために管打楽器の知識を習得したい。
- ◆スコアの読み方やコードネームの知識など、さらに掘り下げて勉強したい。
- ◆文化部活動の地域移行についての最新情報と自分のバンドの対応を考えたい。
- ◆外部指導者として、今後どのように学校部活動に関われば良いか学びたい。

このゼミナールは、そのような**指導者の悩みや希望を解決する**ために、吹奏楽界の第一線で活躍されている講師陣を迎え、充実した講座を開設しています。

コースは、**中級コースと入門コース**を設定し、入門コースではさらに受講者の**グレードに応じて、講座を選択できる**ように設定しています。

吹奏楽指導のポイントを掴み取り、それを**どのように指導の現場で生かしていくか**をキーワードに、実践的で即役に立つ内容となっています。講習科目も指揮法、合奏法の能力向上（モデルバンド：名古屋音楽大学学生モデルバンド）をはじめとした密度の濃い講習会です。

また、それぞれが持つ悩みや経験を講師や受講生相互に話し合うことにより、**指導のヒントや問題解決の糸口**が得られるように、Q&Aを取り入れた各種の「ゼミナール」も開設しています。

【コース設定】

次の2コースを設定しています。コース選択のめやすを参考に選定してください。
※いずれのコースも高校生以下は受講できません。

◆中級コース（定員45名）

指導者として現場における様々な課題をお持ちの方のために、特に**指揮法の基本と応用**について勉強したいと感じている指導者を対象とし、指揮法、バンドトレーニング法、スコアリーディングを中心に実践的でわかりやすく講習いたします。（モデルバンド：別掲カリキュラム一覧表参照）

◇入門コース（定員80名）

吹奏楽指導の**基本を勉強したい**指導者を対象とし、**入門指揮法、バンドトレーニング法及び楽典入門**などを総合的に、かつわかりやすく講習いたします。（ピアノ科・声楽科の出身あるいは音楽科以外の教科担当で、吹奏楽を学びたい方や初めて指揮を勉強される方にもお勧めです。）

～.～.～. コース選択のめやす .～.～.～

コース	「指揮法」習得レベルのめやす
中級コース	指揮法教程（齋藤秀雄著）の練習題を概ね習得している事を前提として、吹奏楽曲を教材として実際のバンドを使用して指揮技術の向上を目指します。
入門コース	指導者としての経験が浅い方、又は、はじめて指揮を勉強する方を対象としています。指揮棒の持ち方などから勉強するコース（初めての指揮：ピアノ伴奏なし）と、指揮法教程（齋藤秀雄著）を使用して基礎から指揮法を習得するコース（入門指揮法：ピアノ伴奏あり）に分かれて、基礎的な指揮ができる事を目指します。

【講師】（五十音順）

秋山紀夫

埼玉県生まれ。武蔵野音楽大学出身。イーストマン音楽学校、東京藝術大学で学ぶ。公益社団法人日本吹奏楽指導者協会（JBA）名誉会長。

阿部勘一

秋田県生まれ。名古屋大学卒業。指揮、音楽理論、作編曲法などを独学後、「吹奏楽ゼミナール」にて学ぶ。現在、成城大学教授、日本大学国際関係学部吹奏楽部講師。公益社団法人日本吹奏楽指導者協会（JBA）理事。

今西正和

京都産業大学卒業。ウクライナ国立キーウ音楽院指揮科にて指揮を学ぶ。劇団四季オーケストラ指揮者、東京佼成ウインドオーケストラ副指揮者を経て、現在、兵庫教育大学・同大学院非常勤講師、大阪府警察音楽隊講師。公益社団法人日本吹奏楽指導者協会（JBA）会員。

上田 仁

東京藝術大学音楽学部卒業。第69回日本音楽コンクールトランペット部門第一位。現在、名古屋音楽大学准教授、シエナ・ウインド・オーケストラトランペット奏者、金管五重奏団バズファイブリーダー。

川本統脩

桐朋学園大学指揮科卒業。音楽大学指導とプロの楽団との共演を通して自己の研鑽につとめた。JBA生涯学習・社会教育委員や日本音楽財団事業運営委員を長年務め、次世代の演奏家の発掘に尽力している。日本演奏連盟会員。公益社団法人日本吹奏楽指導者協会（JBA）会員。

斎藤和憲

愛知教育大学卒業。指揮を小松一彦氏に、吹奏楽指導を竹内俊一氏に学んだ。1985年より蟹江中学校に10年間勤務し、東海吹奏楽コンクールに5回、1994年に東海支部代表として、全日本吹奏楽コンクールに出場した。公益社団法人日本吹奏楽指導者協会（JBA）会員。

汐澤安彦

東京芸大卒業、同専攻科修了。1973年、民音指揮コンクール（現・東京国際音楽コンクール指揮部門）にて最高位を獲得。のちに、渡欧。ベルリン音楽大学、カラヤンアカデミーにて学ぶ。東京佼成ウインドオーケストラ、二期会合唱団、東京吹奏楽団、東京音楽大学など、各常任指揮者を歴任。1999年、日本吹奏楽学会／第9回日本吹奏楽アカデミー賞（演奏部門）受賞。東京吹奏楽団名誉指揮者。東京音楽大学名誉教授。

杉本幸一

1958年静岡県生まれ。中学校より大学まで吹奏楽を経験。作編曲は独学。1988年課題曲「カーニバルのマーチ」を作曲したことから本格的な吹奏楽の作編曲活動に入る。公益社団法人日本吹奏楽指導者協会（JBA）会員。

高藤 摩紀

名古屋音楽大学卒業、英国王立音楽院大学院修了。2019年英国王立音楽院より荣誉であるARAMの称号を受ける。マリンバワン、エリートマレットアーティスト。ドイツ国際マリンバコンクール審査員。現在、名古屋音楽大学教授、日本マリンバ協会特別会員。

田中 賢

東京音楽大学作曲科卒業。作品は、オーケストラや室内楽、吹奏楽、合唱、バレエ音楽映像音楽など多岐にわたり、国内外で好評を得ている。主要作品は「メトセラI」「南の空のトーテムポール」「紅炎の鳥」等多数。公益社団法人日本吹奏楽指導者協会（JBA）会員。

野中 図洋和

大阪音楽大学卒業。元陸上自衛隊中央音楽隊長、指揮者。1969年に陸上自衛隊音楽隊に指揮者として入隊。1986年から中央音楽隊長を務め、2005年4月退官。2000年中央音楽隊とのCD「王は受け継がれ行く」で第55回文化庁芸術祭レコード部門優秀賞を受賞。公益社団法人日本吹奏楽指導者協会（JBA）元副会長。

（ピアノ伴奏） 岩 淵 慶 子

イタリア国立G. ヴェルディ音楽院大学院コレペティトゥア科修了、及びボローニャ市立歌劇場付属オペラ研修所コレペティトゥアコース修了。2011年よりドレスデン歌劇場で3シーズンに渡りコレペティトゥアを務める。平成23年度五島記念文化財団オペラ部門新人賞受賞。新国立劇場オペラ研修所コレペティトゥア。

橋本 眞介

クラリネット奏者。シエナWOを経て広島交響楽団に入団。現在、名古屋音楽大学教授、活水女子大学客員教授、エリザベト音楽大学非常勤講師、日本クラリネット協会理事、なにわOW、第30回広島県民文化奨励賞受賞。公益社団法人日本吹奏楽指導者協会（JBA）会員。

【スタッフ】

寺 沢 彰 彦 平成16年度JBA吹奏楽指導者認定合格者。公益社団法人日本吹奏楽指導者協会（JBA）会員。

【講座内容】

はじめに 各講座は共通講座及び選択制の講座以外はコース別に受講してください。

ただし、聴講のみであれば、申込みコース以外でも自由に受講することができます。

1. 各コース共通講座

リハーサルクリニック（12月28日、各コース共通講座）＜汐澤安彦＞

モデルバンド（名古屋音楽大学学生モデルバンド）の指導を通して、曲のまとめ方や音楽表現の秘伝を教授します。使用曲目：J. オリヴァドーティ作曲 序曲「バラの謝肉祭」（楽譜提供：ウィンズスコア）

バンドトレーニング法（12月29日、各コース共通講座）＜秋山紀夫＞

吹奏楽指導の「公式」を解説し、管楽器経験者以外の指導者に対しても理解できるよう「誰にでもできるバンド指導」を丁寧に講義いたします。モデルバンド（名古屋音楽大学学生モデルバンド）

スコア譜の書き方と読み方（12月29日、各コース共通講座）＜田中 賢＞

吹奏楽指導者として、指揮台に立つ前にフルスコアを実際を書いてみて、それをふまえて楽譜をどう読み込むか、を実習を交えてわかりやすく講義いたします。

管楽器指導法（木管楽器）（12月29日、各コース共通講座）＜橋本眞介＞

木管楽器の演奏法と練習方法について講習します。
「管楽器指導法（金管楽器）」または「打楽器指導法」との選択が必要です。

管楽器指導法（金管楽器）（12月29日、各コース共通講座）＜上田 仁＞

金管楽器の演奏法と練習方法について講習します。
「管楽器指導法（木管楽器）」または「打楽器指導法」との選択が必要です。

打楽器指導法（12月29日、各コース共通講座）＜高藤摩紀＞

打楽器の演奏法と練習方法について講習します。スネアドラムのスティックをご持参ください。
「管楽器指導法（木管楽器）」または「管楽器指導法（金管楽器）」との選択が必要です。

特別講座「名演奏で学ぶ吹奏楽の技術～DVD鑑賞：ギャルド吹奏楽団の名演に学ぶ」

（12月30日、各コース共通講座）＜秋山紀夫＞

1848年にフランスで騎馬ファンアーレ隊として創設され、現在まで世界のトップ吹奏楽団として輝かしい実績を残している「パリ・ギャルド吹奏楽団」の秘密を、解説を交えて映像で紹介いたします。

2. ゼミナール

ゼミナール① (12月28日) **選択制** (各コース選択制)

・ハラスメント講座 <齋藤和憲>

学校部活動や吹奏楽団内において発生する可能性があるハラスメント問題について、ハラスメントがおきる前にやるべき防止策や起きてしまった時に行うべき事を、最新の事例なども交えて解説します。

・コードネームに関するQ&A <杉本幸一>

コードネームに関するあらゆる悩みに答えます。

・指揮法に関するQ&A <川本統脩>

指揮法に関するあらゆる悩みに答えます。

ゼミナール② (12月30日) **選択制** (各コース選択制)

・合奏法に関するQ&A <秋山紀夫>

合奏指導に関するあらゆる悩みに答えます。

・スコアリーディングに関するQ&A <田中 賢>

スコアリーディングに関するあらゆる悩みに答えます。

・指揮法に関するQ&A <川本統脩>

指揮法に関するあらゆる悩みに答えます。

3. コース別講座

◆中級コース

中級指揮法一① (12月28日) <汐澤安彦>

受講生がモデルバンド(名古屋音楽大学学生モデルバンド)を指揮する個人レッスン方式(実技実習)または聴講により指揮法を実習します。

なお、実技実習受講希望者は事前に指揮実技実習の申込みが必要です。ただし、申込みは中級指揮法一①または②のいずれか一方しか申込みできません。<定員8名(先着順)追加実習料3,000円(+消費税300円)>
使用曲目: J.オリヴァードーティ作曲 序曲「バラの謝肉祭」(楽譜提供: ウィンズスコア)

※実技実習受講者は必ず各自スコアをご持参ください。

コードネーム講座 (12月28日) <杉本幸一>

コード進行法、コード解析等、実践的な内容についてお話しします。

中級指揮法一② (12月29日) <川本統脩>

指揮法の基本と応用について楽曲を用いて実習します。

モデルバンド(名古屋音楽大学学生モデルバンド)を使って、楽曲を用いて実習をします。なお、実技実習受講希望者は事前に指揮実技実習の申込みが必要です。ただし、申込みは中級指揮法一①または②のいずれか一方しか申込みできません。<定員12名(先着順)追加実習料3,000円(+消費税300円)>

使用楽曲: G.ホルスト作曲「吹奏楽のための第2組曲」(ブージー&ホークス版/コリンマシュー校訂)

※できるだけ各自スコアをご持参ください。ただし、実技実習受講者は必ず各自スコアをご持参ください。

◇入門コース

入門指揮法一① (12月28日) <野中凶洋和>

指揮とは何か、指揮法の基礎中の基礎について実習します。

指揮法の基本について練習題(齋藤秀雄著『指揮法教程』)を用いて実習をします。(ピアノ伴奏)

使用楽曲: 指揮法教程練習題 No.1、No.2、No.3、No.4 ※必ず指揮棒を持参してください。

「はじめての指揮一①」との選択が必要です。

はじめての指揮一①「吹奏楽基礎知識」編 / 「指揮台に立つ前に」編 (12月28日) <今西正和>

国語や外国語を学ぶことと同じで、指揮をする前には最低限知っておかなければいけない基礎知識があります。楽典や楽器論はもちろん、フルスコアの読み方など、誰も教えてくれない本当の基礎から講習します。

指揮台に立つ前の心構えと事前の準備、演奏者とのコミュニケーションの仕方、自分自身と演奏者のモチベーションアップの方法やリーダーシップの取り方などを講習します。

「入門指揮法一①」との選択が必要です。

入門指揮法一② (12月29日) <野中凶洋和>

指揮法の基本について練習題(齋藤秀雄著『指揮法教程』)を用いて実習をします。(ピアノ伴奏)

使用楽曲: 指揮法教程練習題 No.1、No.2、No.3、No.4 ※必ず指揮棒を持参してください。

「はじめての指揮一②」との選択が必要です。

はじめての指揮②「指揮技術の基本」編（12月29日）＜今西正和＞

指揮棒の持ち方からスタートし、基本的な図形や指揮台の上での姿勢など、はじめて指揮を勉強する方を対象に講習いたします。※必ず指揮棒を持参してください。

「入門指揮法②」との選択が必要です。

コードネーム入門（12月29日）＜杉本幸一＞

吹奏楽指導者として知っておかないといけない知識の一つに「コードネーム」があります。ポップス演奏などで必ず必要な場面が出てきますが、今回は楽曲を使って初心者にもわかるようにレクチャーします。

「楽典入門」との選択が必要です。

楽典入門（12月29日）＜阿部勘一＞

「楽典の学び方を学ぶ」というテーマで講義します。まず、なぜ楽典の知識がないと（＝楽典がわからないと）いけないかについて考えます。そして、楽典の知識を確認するとともに、楽典の内容を鳥瞰し、楽典の全体像をつかみます。短い時間ですので、細かな内容を説明するというよりも、楽典の全体像を眺めながら、楽典をどのように学ぶか、学ぶために何をすればよいかについて知ること、再認識することを目的とします。

「コードネーム入門」との選択が必要です。

【受講料】

＜各コース共通＞

一 一般：32,500円（＋消費税3,250円）

JBA会員：22,100円（＋消費税2,210円）

*ただし、中級コース中級指揮法の実技実習受講者は追加実習料3,000円（＋消費税300円）が加算されます。

- ・受講料は3日間通しの料金です。1日単位での受講は受け付けておりません。
- ・JBA会員の方は、受講料チケット購入時に「割引コード」を入力することで割引が適用されます。割引コードは、JBAホームページの「会員専用ページ」に記載しています。

【定員】

◆中級コース 45名（中級指揮法①実技実習8名、中級指揮法②実技実習12名を含む）

◇入門コース 80名

【申込方法】

イベント管理サービス Peatix から申込

下記のURLからお申込みください。

<https://jba41stbanddirectorseminar2023.peatix.com>

※上記以外の方法でのお申込みは受け付けておりませんので、ご了承ください。



【申込開始】

令和5年（2023年）11月14日（火）11時00分

【申込締切】

令和5年（2023年）12月15日（金）23時55分

※各コースおよび実技実習とも、定員になり次第申込締切（＝チケット完売）となります。

※Peatix 画面の表示で、販売期限は「12月16日（土）まで」となっていますが、申込締切（＝販売終了）期限は12月15日（金）23時55分までとさせていただきますので、お間違えのないようご注意の上、お申込みいただきますようお願いいたします。なお、申込締切日（12月15日）にコンビニエンスストア支払で申し込まれた場合、翌日12月16日（土）までお支払いいただきますようお願いいたします。

【申込みに際しての注意事項】

- ・申込みの際には、Peatix への登録（アカウント設定）が必要です。事前に Peatix のアカウントを作成しておくことをおすすめします。
- ・中級コース受講ご希望の方で、中級指揮法実技実習をご希望される場合は、実技実習①か②のどちらか一方のみの申込みとさせていただきます。
- ・受講料の支払い（チケット購入）はクレジットカードまたはコンビニ/ATM 決済（手数料 220 円）とさせていただきます。
(参考：支払い方法について：<https://help-attendee.peatix.com/ja-JP/support/solutions/articles/44001821736>)
- ・受講料の支払い（チケット購入）の際にコンビニ/ATM 決済を選択された場合で、期日までに支払いがなかった場合は、申込み自体が自動的に取り消しとなりますのでご注意ください。
- ・コンビニ/ATM 決済を選択されたチケットで、期日までに支払いがなかったチケットは、取り消しの後、自動的に再販売に回されます。再販売されたチケットは、誰でも購入することができます。コンビニ/ATM 決済で期日までに支払わなかった方が、再び購入できるわけではありません。なお、取り消されたチケットが再販売に回される時期（タイミング）は Peatix のシステムに依存しており、JBA 側では把握できないことから、JBA に問い合わせいただいても回答できません。
- ・コンビニ/ATM 決済で、「購入手続き→支払期限切れ→購入手続き…」を繰り返す「キープ行為」はおやめください。特に中級指揮法実技実習は定員制レッスンのため、申込完了（支払い完了）をする意思がない受講チケットを購入・保持する行為は、他の受講希望者がチケットを購入する権利の妨げとなりますので、絶対におやめください。「キープ行為」にあたりと当方が判断した場合は、販売・購入妨害行為とみなし、チケットの申込みを取消するとともに、今後の申込みをお断りすることがございます。

【キャンセルポリシー】

吹奏楽ゼミナールへの参加申込み後のキャンセルについては、以下の通り定めます。

- ・やむを得ず吹奏楽ゼミナールへの参加をキャンセルされる場合は、Peatix 経由、または直接 JBA 事務局に直接メールまたは FAX（必要事項＝氏名・参加希望コース・連絡先＝携帯電話番号・メールアドレスを明記）で必ずご連絡ください。キャンセルをされる場合は、以下の通りキャンセル料が発生いたします。ご了承ください。
- ・キャンセルされる場合、支払われた受講料（＝チケット代金）から、以下のキャンセル料を差し引いて返金いたします。返金の期日は、誠に勝手ながら、2024年1月中旬頃とさせていただきます。なお、返金の際にかかる諸経費（銀行振込手数料等）は、キャンセルされる方の負担とさせていただきます。
- ・吹奏楽ゼミナールへの参加を連絡なくキャンセル（当日不参加）された場合、今後の吹奏楽ゼミナールへの申込みをお断りする場合がございます。ただし、この場合もキャンセル料（＝受講料の全額）は発生いたしますので、ご注意ください。

期 間（申込完了から）	キャンセル料
12月5日(火)17時まで	受講料の5%
12月5日(火)17時から、12月15日(金)17時まで	受講料の10%
12月15日(金)17時から、12月22日(金)17時まで	受講料の50%
12月22日(金)17時以降または連絡なしの不参加	受講料の全額

【キャンセル待ちについて】

- ・それぞれのコースについて、定員上限に達した場合、キャンセル待ちを受け付けます。ただし、中級コースの指揮実技実習①と②については、キャンセル待ちは受け付けません。
- ・キャンセル待ちをご希望される場合は、キャンセル待ちの受付開始後、JBA事務局にメールまたはFAX（必要事項＝氏名・参加希望コース・連絡先＝携帯電話番号・メールアドレスを明記）でご連絡ください。キャンセル待ちの受付開始については、JBAホームページ、およびPeatixのイベントページでお知らせいたします。
- ・キャンセル待ちの申込みは12月15日（金）17時までとします。
- ・キャンセルが発生した場合、キャンセル待ち先着順にご連絡いたします。なお、12月20日（水）17時までにキャンセル発生の連絡がなかった場合は、定員上限に達したものとし、キャンセル待ちは取り消しとさせていただきます。

【申込みの確認と吹奏楽ゼミナール参加に際しての案内】

- ・申込みの確認については、Peatix上で申し込まれた際に届くメール、Peatixの「マイページ」、スマートフォンのPeatixアプリ（無料）で、チケットとして確認できます。したがって、申込み後は、JBA事務局から改めて受付確認の連絡はいたしません。吹奏楽ゼミナール当日、受付の際に、チケットのプリントアウトを提示、あるいはスマートフォンのアプリで画面を提示していただきます。
- ・吹奏楽ゼミナール参加に際しての案内（集合時間、場所、持ち物など）は、上記の吹奏楽ゼミナール当日の受付方法も含め、12月20日（水）ごろにPeatix経由のメールで改めてお知らせいたします。

【やむをえず中止となった場合】

新型コロナウイルス感染症拡大に伴う状況や、地震などの天災によって、やむをえず吹奏楽ゼミナールが中止となった場合は、Peatix経由のメールおよびJBAホームページでお知らせいたします。

【新型コロナウイルス感染症対策に関わる対応とお願い】

- (1) 37.5度以上の発熱がある（解熱剤服用を含む）場合は受講をお断りいたします。
- (2) 体調不良、風邪の症状、倦怠感、息苦しさ（呼吸困難）、味覚・臭覚障害がある場合は受講をお断りいたします。
- (3) 施設内では手洗いや手指消毒、咳エチケットなど、感染症対策にご配慮をお願いいたします。
- (4) 会場内は基本的に自由席となりますが、ほかの人との距離をできるだけ空けるよう心がけていただき、入退場、移動時等のソーシャル・ディスタンスの確保にご協力ください。
- (5) 会場内での飲食はできません。昼食につきましては、指定の場所でおとりください。
- (6) 滞在中に出たゴミはすべてお持ち帰りください。

【宿 泊】

手配は各自でお願いいたします。

【お問合せ】

公益社団法人日本吹奏楽指導者協会（JBA）

〒102-0073 東京都千代田区九段北4-2-4 千修ビル内

TEL&FAX (03) 5275-5618 （お電話でのお問合せは(月)～(金) 11:00～17:00）

E-MAIL info@jba-honbu.or.jp

ホームページ <http://www.jba-honbu.or.jp>

■適格請求書発行事業者登録番号：T2010005017499

◆第41回吹奏楽ゼミナール カリキュラム

【第1日】12月28日(木)

コース名	中級	入門(80)
	開講式	
	リハーサルクリニック <汐澤安彦>	楽曲：作曲 序曲 楽譜 ：名 楽 学学
	中級指揮法一① <汐澤安彦> 序曲 楽譜 名 楽 学学 実技実 定 名	(選択制) 入門指揮法一① <野中図洋和> 指揮法 奏 休憩 分
	コードネーム講座 <杉本幸一>	はじめての指揮一① <今西正和> ※休憩15分あり
	ゼミナール①(選択制)	
	・ハラスメント講座 <斎藤和憲>	・コードネームに関するQ&A <杉本幸一>
		・指揮法に関するQ&A <川本統脩>

【第2日】12月29日(金)

コース名	中級	入門(80)
	中級指揮法一② <川本統脩> 作曲 吹奏楽 第 曲 名 楽 学学 実技実 定 名	(選択制) 入門指揮法一② <野中図洋和> 指揮法 奏
	休憩 分	(選択制) コードネーム入門 <杉本幸一>
		楽典入門 <阿部勘一>
	昼 食	
	バンドトレーニング法 <秋山紀夫> 名 楽 学学	
	スコア譜の書き方と読み方 <田中 賢> 作曲	
	(選択制) 管楽器指導法(木管楽器) <橋本真介>	(選択制) 管楽器指導法(金管楽器) <上田 仁>
		打楽器指導法 <高藤摩紀>

【第3日】12月30日(土)

コース名	中級	入門(80)
	特別講座「名演奏で学ぶ吹奏楽の技術～DVD鑑賞：ギャルド吹奏楽団の名演に学ぶ」 <秋山紀夫>	
	ゼミナール②(選択制)	
	・合奏法に関するQ&A <秋山紀夫>	・スコアリーディングに関するQ&A <田中 賢>
		・指揮法に関するQ&A <川本統脩>
	閉講式	
	第35回吹奏楽指導者認定試験(実施要項参照)	

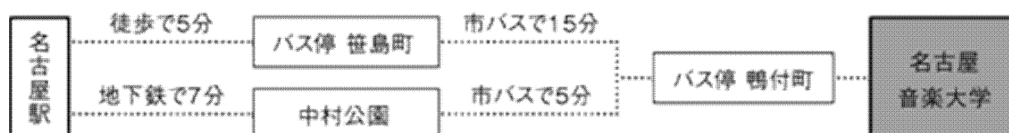
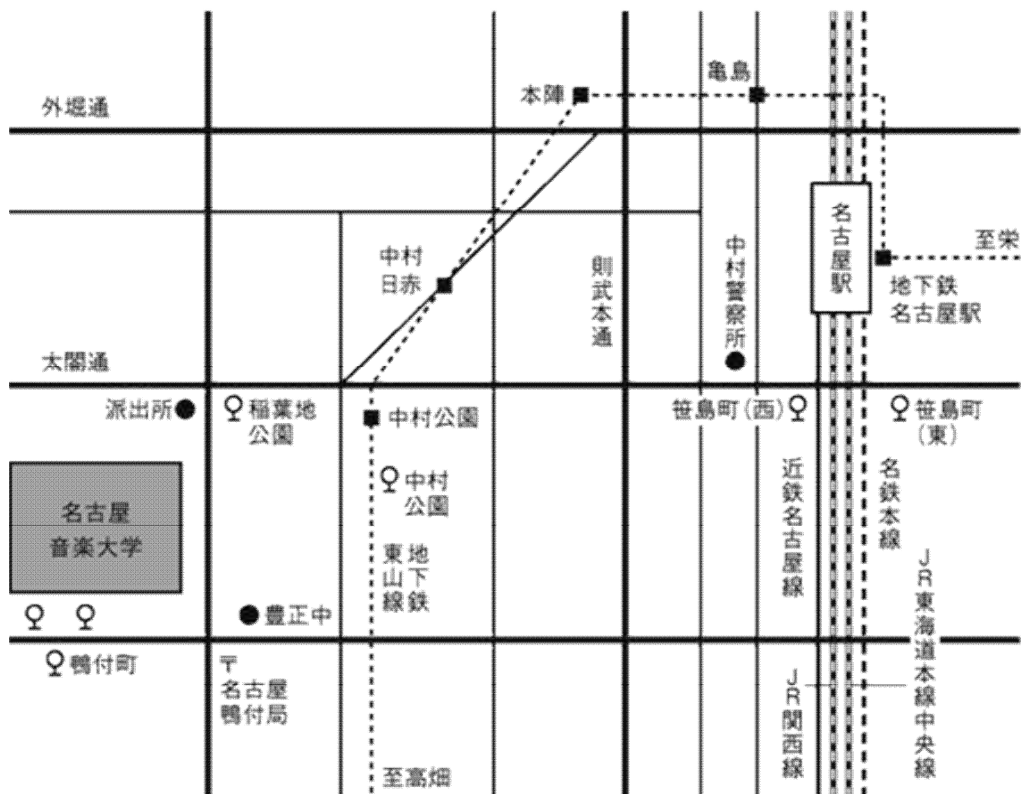
会場 名古屋音楽大学

交通アクセス

JR名古屋駅から

- ・ JR名古屋駅からバス停「笹島町」から市バス栄24号系統「稲西車庫」行きで15分、「鴨付町」下車すぐ。
- ・ JR名古屋駅から地下鉄東山線「高畑」行きで7分、「中村公園」下車。
中村公園バスターミナルから市バス中村13号系統「稲西車庫」行きで5分、「鴨付町」下車すぐ。

名古屋駅に近い都市型音楽大学



住所：名古屋市中村区稲葉地町7-1

※名古屋音楽大学のホームページをご参照ください。

<https://www.meion.ac.jp>